

「学力」とは何かを考える
「学力」とは「学ぶ力」、自ら進んで「新しいことを学ぶ力」

開倫塾
塾長 林 明夫

Q: 「学力」とは何だと考えますか。

A: (林明夫: 以下省略)

(1) 「学力」とは「学ぶ力」だと考えます。

(2) 「自分で学ぶ力」、「自ら進んで学ぶ力」、これが「学力」だと考えます。

Q: 何を「学ぶ力」が「学力」なのですか。

A: (1) 「新しいことを学ぶ力」が「学力」だと考えます。

(2) 「自ら進んで新しいことを学ぶ力」、これが「学力」です。

(3) もちろん、今までに学んだことを何回も繰り返して学び直し、正確に身に着けることも「学力」です。今までに学んだことをじっくりと学び直し、その本質を究めるのも大切な「学力」だと私は考えます。

(4) ただし、学校だけでなく、社会に出てからも仕事や社会的活動、生活を充実させ、豊かにする上で大切なのは「自ら進んで新しいことを学ぶ力」です。

Q: 「学力」とは「自分から進んで新しいことを学ぶ力」ですか。面白い考えですね。テストでよい点数を取ったり難しい学校に合格したりするのが「学力」だと思っていました。

A: (1) 定期テストで100点満点を取ってよい学校成績を取ること、英検や漢検、数学検定で合格点を取ること、また、希望校に合格するだけの偏差値を確保した上で希望校への合格を果たすことは、よく考えれば、「自ら進んで新しいことを学ぶ力」が身に着き、十分学習をした結果です。

(2) 小学校でも、中学校・高校でも学年が進むごとにすべての教科で毎年、毎年新しい内容を学習します。よく考えれば、皆さんは毎日学校に行くたびに新しい内容を学んでいるのです。もちろん、今まで学んだことのおさらい・復習はしますが、学校で毎日、毎日新しいことを学び続けているのです。

(3) 皆さんは、毎日、毎日新しいことを学び、テストなどを活用して学んだ結果をよく身に付けています。これは、新しいことを「学ぶ力」、つまり「学力」が備わっているからです。それだけでもとても立派です。

Q : 「立派です」と言われても…。よく考えれば、学校で学ぶのはいつも新しいことなのですね。社会に出てからも新しいことを学ぶことはありますか。新しいことを「学ぶ力」、「学力」は必要ですか。

A : (1) 社会に出れば誰でもすぐにわかりますが、自分の知らないことは山ほどあります。新しいことばかりです。

(2) 仕事や社会的活動をすればするほど、新しいこと、自分の力で学ばなければならないことが次から次へと出てきます。

(3) 例えば、仕事や社会的活動、生活をする上で自動車を運転する必要がある場合は、自動車の運転免許証を取得しなければなりません。そのためには、自動車のしくみや運転の技術、交通法規運転のマナーなどの新しいことを、自動車教習所などの力を借りて自分の力で学ばなければなりません。

(4) ワードやエクセルなどのコンピュータのスキルを、初級 中級 上級と少しずつでも高いレベルにもっていくには、コンピュータ学校などの力を借りて新しい内容を自分の力で学ばなければなりません。

(5) 世界の共通語である英語によるコミュニケーションを行うためには、より高いレベルの英語の「読む」「聞く」だけでなく「書く」「話す」などの能力を身に着けなければなりません。

(6) 英語以外の外国語を身に着けなければならないときは、まさにゼロからの出発です。ゼロから学び始めなければなりません。

(7) 医療・介護・福祉の仕事や活動をするのにも、新しいことを「自分から進んで学ぶ力」が求められます。

(8) このように、世の中にあるありとあらゆる仕事や社会的活動は学校で学んだことだけでは足りず、それらにふさわしい内容を学び続けなければなりません。

Q : 社会では、学校で学んだことは役に立たないのですか。

A : (1) 役に立たないどころではありません。社会に出てからのすべての仕事や社会的活動、もっと言えば、人間としての生活は学校で学んだことの上に成り立っているのです。

(2) 学校で学ぶすべての教科、教科以外のすべての教育活動は、社会に出てから仕事や社会的活動をする上で、また、生活する上ですべて役に立ちます。

(3) その中で一番役に立つのが、「学ぶ力」、つまり「自分から進んで新しいことを学ぶ力」です。

Q : 最後に一言どうぞ。

A : (1) どうか、7月、8月、9月の3か月間は、「自分から進んで新しいことを学ぶ力」という意味での「学力」を十分に身に着けるように努めてください。

(2) 9月末日までにこれだけは成し遂げようという目標を定めて、自分から進んで「長時間学習」を行い、よい成績、自分の希望する学校に合格できる偏差値を確保してくださいね。

2014年7月2日
(宇都宮大学大学院工学研究科 客員教授)